

	まつやまし 松山市	〒790-8571 松山市二番町四丁目7番地2		電話 番号	(089) 948-6688
		地域 指定	離島 過疎 山振 辺地(6) 農振 国立公園 県立公園 国際会議観光都市 ITビジネスモデル地区 オムニバスタウン		FAX

<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/>

〈沿革〉

明22.12.15	市制施行
41. 4. 1	編入 朝美村 雄群村 素鷲村 道後村の各一部
大12. 4. 1	編入 道後村の一部
15. 2.11	編入 朝美村 雄群村 素鷲村 御幸村
昭 7. 2. 1	編入 道後湯之町の一部
15. 8. 1	編入 三津濱町 和氣村 久枝村 堀江村 潮見村 味生村 桑原村
19. 4. 1	編入 道後湯之町 生石村 垣生村
29. 2. 1	編入 興居島村
10. 1	編入 余土村
30. 5. 1	編入 久米村 湯山村 伊台村 五明村
34. 4.10	編入 浮穴村
36.12.15	編入 小野村
37. 4. 1	編入 石井村
43.10.25	編入 久谷村
平17. 1. 1	編入 北条市 中島町

〈市町のあらまし〉

本市は、県の中心部に位置し、東に四国山地を背景とし、西は波静かな瀬戸内海を望む松山平野の中心を占める。市街地は松山城を中心に発展を続け、明治6年愛媛県庁が設置され、同22年市制が施行されて以来、政治経済の中心都市として成長。さらに戦後、戦災復興都市計画の実施で、市街地・交通体系の整備などにより近代都市へと面目を一新する一方、商工業都市としての性格を強めた。今日では総合的な都市機能を備え、平成12年4月には「中核市」に移行した。平成17年1月には北条市・中島町と合併し四国初の50万都市となり、多様な自然や文化と都市機能が調和した都市としての新たな魅力・活力の創造を目指している。

〈由来〉

慶長7年(1602年)から25年の歳月をかけて、加藤嘉明が勝山山頂に築城した「松山城」の名に由来する。

〈庁舎の建設年度〉

建物名称	建築	改築	主な増改築箇所
本館	昭49	平15	耐震改修
別館	昭37	昭50 平14	本館建築に伴う改修 耐震改修
第3別館	昭38	昭55 平9	購入 全面改修
第4別館	昭31	昭48 平8	取得 全面改修

〈行政組織〉

(令和2.4.1現在)

議 会 (令和2.7.2現在)

職員数 (令和2.4.1現在)

区 分	名 前	任 期	議長	若江 進	副議長	渡部 克彦	普通会計	2,921人
市 長	のし かつひと 野志 克仁	令和4.11.27	議員	(条例定数) 43人			企業会計	247人
				(現 員) 43人			その他会計	178人
副市長	梅岡伸一郎 北澤 剛	令和5. 6.11 令和4. 7. 9	任期	令和4. 5.24			計	3,346人

〈人口・世帯数〉

( )は増減率

区 分	平2国調	平7国調	平12国調	平17国調	平22国調	平27国調	令2 1.1住基
人 口	(3.1%) 480,854	(3.4%) 497,203	(2.2%) 508,266	(1.3%) 514,937	(0.5%) 517,231	(△0.5%) 514,865	511,310
男	227,323	235,104	239,516	242,463	241,586	241,656	240,178
女	253,531	262,099	268,750	272,474	275,645	273,209	271,132
世帯数	173,644	191,083	204,924	216,160	224,178	230,509	250,368

## 年齢構成（平27国調）

区 分	14歳以下	15歳以上64歳以下	65歳以上
人 口	64,925 人	303,024 人	128,658 人
構成比	12.6 %	58.9 %	25.0 %

選挙人名簿  
登録者数（令和2.9.1現在）

男	197,987 人
女	230,269 人
計	428,256 人

## 〈土地利用〉

（平27.2.1現在）（ha. %）

総面積 令和2.7.1 (km <sup>2</sup> )	林野面積	林野率	経営耕地面積			宅地化率 令元.1.1	
			田	畑	樹園地		
429.40	18,908	44.0	3,422	1,305	200	1,917	21.5

## 〈産 業〉 産業構造

（百万円・人）

区 分	総生産額(平29年度)		就業人口(平27国調)	
	金額	率	人数	率
第1次	11,573	0.7 %	6,957	3.2 %
第2次	242,034	145 %	40,668	18.8 %
第3次	1,420,174	849 %	169,242	78.0 %
計	1,673,781	100.0 %	216,867	100.0 %

（注）「総生産額」の計欄は附属利子の控除等を行っており、「就業人口」の計欄は分類不能の人数を含む。

## 主要製造業（平30年）

（百万円）

品 名	製造品出荷額等
生産用機械	90,210
はん用機械	84,844

## 所得（平29年度）

1人当たり 市町民所得	2,519 千円
----------------	----------

## 令和元年度の主な建設事業

（百万円）

## 今後の主な建設事業

（百万円）

事 業 名	事 業 費	事 業 名	事 業 費
公共下水道	5,693	公共下水道	42,000
松山外環状線（地域高規格道路）整備	15	松山外環状線（地域高規格道路）整備	8,343
松山駅周辺土地区画整理	2,900	松山駅周辺土地区画整理	15,905
道後温泉本館保存修理事業	297	道後温泉本館保存修理事業	1,603
公立保育所建替	282	公立保育所建替	55
姫ヶ浜荘整備	126		

〈観光・レクリエーション〉

名勝旧跡 観光施設	道後温泉 松山城 松山城二之丸史跡庭園 坂の上の雲ミュージアム 子規記念博物館 子規堂 石手寺 太山寺 大宝寺 松山総合公園 愛媛県民文化会館 県美術館 萬翠荘 坊っちゃん列車 鹿島公園 高縄山
祭 り 催 し 物	椿まつり(旧暦1月7～9日) 松山春まつり(道後温泉まつり3月19～21日、お城まつり4月第1土曜日・日曜日) 北条鹿島まつり(5月3・4日) 糺練り踊り(5月3日、10月中旬) 風早海まつり(7月最終土曜日) 松山港まつり(8月第一土曜日) 松山まつり(8月第二週金・土・日) トライアスロン(8月下旬) 松山地方祭(10月上旬) 興居島船踊り(10月第一土曜日) 北条秋祭り(10月中旬)
公 営 宿 泊 施 設	KKR道後ゆづき、愛媛県市町村職員えひめ共済会館、愛媛県障害者更生センター道後友輪荘、 エスポワール愛媛文教会館、公立学校共済組合道後宿泊所にぎたつ会館、姫ヶ浜荘

〈名物・特産品〉

竹工芸品 伊予かすり 姫だるま 姫てまり 水月焼 一刀彫(十二支) 伊予柑 みかんジュース 紅まどんな せとか  
緋の燕漬 小魚珍味 五色そうめん タルト 羊羹 醤油餅 坊っちゃん団子 鯛めし ほっちゃん島あわび カラマンダリン  
瀬戸内の銀鱗煮干し 松山長なす 松山一寸そらまめ 伊台・五明こうげんぶどう 松山ひじき グニーユーカリ

〈主な公共施設〉

道後温泉本館 道後温泉別館 飛鳥乃湯泉 椿の湯 城山公園(松山城・松山城二之丸史跡庭園) 坂の上の雲ミュージアム 子規記念博物館 松山市民会館 松山市北条市民会館 総合コミュニティセンター コムズ(まつやま男女共同参画推進センター) 青少年センター 埋蔵文化財センター(松山市考古館) 総合福祉センター ハーモニープラザ 保健所・消防合同庁舎 松山総合公園 杖ノ淵公園 庚申庵 りっくる(まつやまRe再来館) 松山中央公園(坊っちゃんスタジアム・マドンナスタジアム・多目的競技場・屋内運動場・テニスコート・運動広場・アクアパレットまつやま) 野外活動センター 風早の郷 風和里 松山市北条ふるさと館 北条スポーツセンター 鹿島公園 松山市中島総合文化センター

〈主要課題〉

1. 健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】
  - ・地域全体で子育てを支える社会をつくる
  - ・暮らしを支える福祉を充実する
  - ・生涯にわたって安心な暮らしをつくる
2. 生活に安らぎのあるまち【安全・安心】
  - ・災害等に強いまちをつくる
  - ・安全に暮らせる環境をつくる
3. 地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】
  - ・暮らしを支える地域経済を活性化する
  - ・都市全体の価値や魅力を向上する
  - ・広域拠点となる交通基盤を整備する
4. 健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】
  - ・子どもたちの生きる力を育む
  - ・多彩な人材を育む
  - ・全ての人が尊重される社会をつくる
  - ・松山市固有の文化芸術を守り育む
5. 緑の映える快適なまち【環境・都市】
  - ・快適な生活基盤をつくる
  - ・特色ある都市空間を創出する
  - ・豊かな自然と共生する
6. 市民とつくる自立したまち【自治・行政】
  - ・市民参画を推進する
  - ・地方分権社会を推進する

〈地域づくりの事業等〉

四国で唯一の50万都市である本市には、空港や港湾、高速道路といった広域交通や物流の拠点をはじめ、中心部における商業の賑わいなど、様々な都市機能が集積する中、松山城や道後温泉などの歴史・文化資源はもちろん、瀬戸内海に浮かぶ島々や広大な山々といった自然、またそこに根付いた地域活動など、誇るべき財産がたくさんあります。

また、小説『坂の上の雲』に描かれた若き先人達が、前のみを見つめ坂を上っていくというひたむきな精神や俳句をはじめとすることば文化は、21世紀を生きる私たちにも息づいています。

そこで、本市ではこれらの魅力をさらに磨き上げるとともに、松山の暮らしやすさを全国へ発信する「シティプロモーションの推進」、低炭素社会の実現に向けた「環境モデル都市の推進」、産官学民が連携した「協働による防災活動等の推進」など、様々な取り組みを進めています。

そして、まちづくりの主役である市民が自分たちの住む地域に「誇りや愛着」を持ち、全ての人が幸せを実感することができるよう「人が集い 笑顔広がる 幸せ実感都市 まつやま」の実現を目指します。

